



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社  
コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 阿多 親市

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理統括 (氏名) 長田 隆明

TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,671	16.0	238	32.6	234	26.5	133	69.4
28年3月期第1四半期	9,201	△5.5	180	34.9	185	36.3	78	6.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 108百万円 (234.1%) 28年3月期第1四半期 32百万円 (△71.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	13.80	13.54
28年3月期第1四半期	8.11	8.03

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第1四半期	22,411	11,248	48.5	1,125.02
28年3月期	25,974	11,726	43.1	1,159.88

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 10,869百万円 28年3月期 11,188百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	47,000	4.1	2,400	4.0	2,300	3.1	1,500	6.7	155.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の連結業績予想については、第2四半期(累計)の業績予想の算定が困難であるため、通期の業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	10,711,900 株	28年3月期	10,696,900 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,050,571 株	28年3月期	1,050,490 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	9,655,531 株	28年3月期1Q	9,698,210 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は同日TDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<http://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>)にも掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	(百万円)			(円)	
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 (当期) 純利益	1株当たり 四半期 (当期) 純利益
平成29年3月期第1四半期	10,671	238	234	133	13.80
平成28年3月期第1四半期	9,201	180	185	78	8.11
増減率	16.0%	32.6%	26.5%	69.4%	70.1%
(参考) 平成28年3月期	45,163	2,308	2,230	1,405	144.74

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高10,671百万円（前年同期比+16.0%）、営業利益238百万円（前年同期比+32.6%）、経常利益234百万円（前年同期比+26.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益133百万円（前年同期比+69.4%）となりました。

主な増減要因は、以下のとおりです。

## (a) 売上高

売上高は10,671百万円となり、前年同期と比較して1,469百万円（16.0%）増加しました。当社単体において大型の公共案件が順調に進行したこと、プラットフォームソリューション事業における機器販売の受注が増加したこと、さらにシマンテックストア事業が伸長したことにより増収となりました。

## (b) 限界利益（注）

限界利益は2,679百万円となり、前年同期と比較して201百万円（8.1%）増加しました。プラットフォームソリューション事業の機器販売が増加したことにより、売上高は増加したものの限界利益率は低下しました。

（注）限界利益＝売上高－変動費（売上高とともに変化する商品仕入高や外注費、物流費等）

## (c) 固定費

固定費は2,440百万円となり、前年同期と比較して142百万円（6.2%）増加しました。これは主に、当社単体における従業員の増員によるものです。

## (d) 営業利益

上記の結果、営業利益は238百万円となり、前年同期と比較して58百万円（32.6%）増加しました。採用の強化により人件費は増加したものの、売上高の伸長とその他固定費の抑制により、営業利益率は前年同期と比較して0.2ポイント改善し2.2%となりました。

## (e) EBITDA（注）

EBITDAは466百万円となり、前年同期と比較して49百万円（12.0%）増加しました。

（注）EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費

## (f) 営業外損益

為替差損が増加した結果、営業外損益は4百万円の損失となり、前年同期と比較して9百万円（前年同期は5百万円の利益）損失が増加しました。

## (g) 経常利益

上記(d)～(f)の結果、経常利益は234百万円となり、前年同期と比較して49百万円（26.5%）増加しました。

## (h) 特別損益

特別損益は発生しておらず、前年同期と比較して4百万円（前年同期は4百万円の利益）利益が減少しました。

(i) 税金等調整前四半期純利益

上記(g)～(h)の結果、税金等調整前四半期純利益は234百万円となり、前年同期と比較して45百万円(23.8%)増加しました。

(j) 法人税等合計

法人税等合計は86百万円となり、前年同期と比較して3百万円(4.1%)減少しました。

(k) 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記(i)～(j)の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は133百万円となり、前年同期と比較して54百万円(69.4%)増加しました。

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要なサービスの業績については、次のとおりであります。なお、一部サービス区分について、当第1四半期より名称を変更しております。

また、一部のサービスに関するサービス区分について見直しを行ったため、各サービス区分の前年同期の売上高及び限界利益の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

セグメント	サービス区分	主なサービスの内容	主な事業会社の名称	
報告 セグメント	ICT サービス 事業	デジタル マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ECサイト運営代行サービス、フォントセットの開発・販売及びウェブフォントサービスの提供</li> <li>・ウェブサイトの構築、アクセスログ解析ツール、データ解析及びコンサルティングサービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトバンク・テクノロジー(株)</li> <li>・フォントワークス(株)</li> <li>・(株)環</li> </ul>
		プラットフォーム ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT基盤の構築と運用保守サービス、リナックスソリューションの提供</li> <li>・脆弱性診断テストや標的型攻撃対策サービス、電子証明書を利用した認証や暗号化サービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトバンク・テクノロジー(株)</li> <li>・サイバートラスト(株)</li> <li>・ミラクル・リナックス(株)</li> </ul>
		クラウドシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システムの開発と運用保守サービス、タブレット端末やスマートフォン、ロボット用アプリケーションの開発</li> <li>・情報システムのクラウド移行支援、親和性の高い自社クラウドサービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトバンク・テクノロジー(株)</li> <li>・M-SOLUTIONS(株)</li> <li>・アソラテック(株)</li> </ul>

## ① デジタルマーケティング

(百万円)

	前年同期	当第1四半期	増減	増減率
売上高	5,254	5,496	241	4.6%
限界利益	869	793	△76	△8.8%

## ＜ 主なサービス内容 ＞

## ・ ECサービス

シマンテックストアの運営代行や、フォントセットの開発・販売、ウェブフォント及びウェブフォントプラットフォームサービスを提供しています。

## ・ データアナリティクス

ウェブサイトのコンテンツ管理システムの構築とアクセスログ解析、データを蓄積・加工・分析するBIツール、及びそれらに付随するコンサルティングサービスを提供しています。加えて、社内ログの分析サービスや広告費の効果測定サービスなども提供しています。

## ＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は5,496百万円となり、前年同期と比較して241百万円(4.6%)増加しました。これは、シマンテックストアの売上高が好調に推移したことによるものです。

限界利益は793百万円となり、前年同期と比較して76百万円(8.8%)減少しました。シマンテックストアの売上高は伸長したものの、前年同期に大型案件の受注があった子会社フォントワークス(株)の減収に伴い減益となりました。

## ② プラットフォームソリューション

(百万円)

	前年同期	当第1四半期	増減	増減率
売上高	2,255	2,656	401	17.8%
限界利益	890	1,012	121	13.7%

## ＜ 主なサービス内容 ＞

## ・ ITインフラソリューション

サーバーやネットワーク機器の販売、IT基盤の構築及び運用保守サービスの提供、リナックスOSやデジタルサイネージシステム、統合監視ツール及びサポートサービスを提供しています。

## ・ セキュリティソリューション

セキュリティ運用監視や標的型攻撃対策、各種診断サービス、その他セキュリティ商材を組み合わせた包括的なソリューション、電子証明書を利用した通信の暗号化や認証サービス等を提供しています。

## ＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は2,656百万円となり、前年同期と比較して401百万円(17.8%)増加しました。これは主にITインフラソリューションにおける大型機器販売の受注、及びFireEyeやImpervaなどセキュリティ関連サービスの受注が増加したことによるものです。

限界利益は1,012百万円となり、前年同期と比較して121百万円(13.7%)増加しました。ITインフラソリューションとセキュリティ関連サービスの売上が伸長したことに伴い、増益となりました。また、自社開発のコンテンツやサービス提供を行う子会社サイバートラスト(株)とミラクル・リナックス(株)も増益に寄与しております。

## ③ クラウドシステム

(百万円)

	前年同期	当第1四半期	増減	増減率
売上高	1,690	2,518	827	49.0%
限界利益	717	873	155	21.7%

＜ 主なサービス内容 ＞

・ システムインテグレーション

情報システムの開発及びそれに付随する運用保守サービスを提供しています。また、スマートフォンやタブレット端末、ロボット向けのアプリケーション及び開発支援ツールの開発・販売を行っています。

・ クラウドソリューション

顧客企業のコミュニケーションシステムのクラウド移行支援や、移行後の運用監視サービス、ユーザーの利便性と企業のセキュリティを両立する自社サービスなどを提供しています。

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は2,518百万円となり、前年同期と比較して827百万円(49.0%)増加しました。これは主に、公共案件を中心とした大型案件が順調に推移したこと、及びソフトバンクグループ向けのシステム開発、運用・保守案件が増加したことによるものです。

限界利益は873百万円となり、前年同期と比較して155百万円(21.7%)増加しました。これは、クラウドソリューションの売上高が伸長したことによるものです。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	平成28年3月期	平成29年3月期第1四半期	(参考) 平成28年3月期第1四半期
総資産	25,974	22,411	22,364
純資産	11,726	11,248	10,822
自己資本比率	43.1%	48.5%	44.8%

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より3,562百万円減少して22,411百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末より3,544百万円減少しました。

固定資産は、のれんの減少などにより、前連結会計年度末より17百万円減少しました。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より3,084百万円減少して11,162百万円となりました。

流動負債は、買掛金の減少などにより、前連結会計年度末より2,759百万円減少しました。

固定負債は、社債の減少などにより、前連結会計年度末より325百万円減少しました。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前期末決算に係る配当による利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末より477百万円減少して11,248百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想については、第2四半期期間(累計)の合理的な業績予想の算定が困難であるため、通期の業績予想のみを開示しております。

また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成28年4月26日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,721,789	7,282,920
受取手形及び売掛金	11,279,578	5,749,147
商品	221,142	99,026
仕掛品	260,724	543,180
繰延税金資産	377,998	317,681
その他	976,404	1,298,672
貸倒引当金	△8,206	△5,849
流動資産合計	18,829,431	15,284,778
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	515,562	496,560
工具、器具及び備品(純額)	776,185	765,626
建設仮勘定	9,684	14,489
有形固定資産合計	1,301,431	1,276,676
無形固定資産		
のれん	1,201,211	1,159,857
ソフトウェア	965,181	924,235
ソフトウェア仮勘定	89,180	199,361
顧客関連資産	590,745	574,779
その他	281,943	274,913
無形固定資産合計	3,128,262	3,133,147
投資その他の資産		
投資有価証券	912,669	875,457
繰延税金資産	243,755	263,702
その他	1,616,230	1,635,636
貸倒引当金	△57,587	△57,585
投資その他の資産合計	2,715,067	2,717,211
固定資産合計	7,144,761	7,127,035
資産合計	25,974,192	22,411,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,293,231	4,795,714
1年内返済予定の長期借入金	324,650	320,400
リース債務	71,413	71,783
未払金	701,044	755,360
未払法人税等	590,404	46,514
前受金	1,356,680	1,789,228
賞与引当金	608,652	308,607
役員賞与引当金	-	18,416
受注損失引当金	2,420	9,522
その他	810,105	883,162
流動負債合計	11,758,602	8,998,709
固定負債		
社債	100,000	-
長期借入金	638,800	558,700
リース債務	434,093	416,008
繰延税金負債	118,567	111,747
長期前受金	670,407	720,806
退職給付に係る負債	74,220	77,914
資産除去債務	257,714	258,471
その他	195,388	20,464
固定負債合計	2,489,192	2,164,113
負債合計	14,247,795	11,162,823
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	664,456	672,366
資本剰余金	714,919	582,694
利益剰余金	10,629,573	10,473,380
自己株式	△872,008	△872,151
株主資本合計	11,136,939	10,856,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,778	9,993
為替換算調整勘定	3,987	2,890
その他の包括利益累計額合計	51,766	12,883
新株予約権	102,010	99,822
非支配株主持分	435,680	279,994
純資産合計	11,726,397	11,248,990
負債純資産合計	25,974,192	22,411,813

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,201,163	10,671,142
売上原価	7,752,771	9,086,471
売上総利益	1,448,392	1,584,670
販売費及び一般管理費	1,268,372	1,346,027
営業利益	180,019	238,643
営業外収益		
受取利息	30	14
持分法による投資利益	3,748	5,959
為替差益	3,068	-
雑収入	4,854	999
営業外収益合計	11,701	6,972
営業外費用		
支払利息	6,606	5,194
為替差損	-	5,885
雑損失	0	352
営業外費用合計	6,607	11,433
経常利益	185,113	234,183
特別利益		
退職給付制度改定益	4,029	-
特別利益合計	4,029	-
税金等調整前四半期純利益	189,142	234,183
法人税、住民税及び事業税	83,335	37,263
法人税等調整額	6,669	49,056
法人税等合計	90,004	86,320
四半期純利益	99,138	147,862
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,652	133,200
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,485	14,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,997	△37,785
為替換算調整勘定	△512	△1,097
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,006	-
その他の包括利益合計	△66,517	△38,883
四半期包括利益	32,620	108,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,229	94,317
非支配株主に係る四半期包括利益	21,391	14,662

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。